

を問う



幅田千富美

誘致企業の地元優先雇用、五十%以上に

地元雇用率は三十七%

幅田 深刻な雇用情勢の改善のため、町内誘致企業の地域貢献が求められている。コカコーラ倉庫増設に伴う新卒、中途採用も含め、地元優先雇用五十%以上を求める考えについて問う。

町長 町内平均三十七%頑張ってもらっている。町は側面的支援であり、雇用はハローワークの責任だ。

幅田 優遇政策をとり、誘致した企業である。目的達成のため、協力、要請するのは当然だ。

教育検討会答申への対応は

幅田 八郷、二部、日光を分校にし（五年生から本校）。岸本と溝口の小中一貫校とし、溝口は新

築の答申だが①住民合意はあるか②小中一貫校の県内実施例とその成否の把握。③一貫校への合意形成はどうか④耐震化実施はいつか。

教育長 ①溝口校舎の新築は同敷地内、一体型のもので、答申内容を保育所小・中学校の保護者に説明し、意見を聞く。②新しいものを作るのは、苦労があったことと思う。③県外講師を招いて研修した。

町長 耐震改築方針は教育委員会の検討結果待ち。**幅田** 住民アンケートでは「現状維持が大半で、小・中一貫校は問われていない」「まるで雲をつかむような話だ」との声だ。教育権は国民一人一人、子どもにもある。

国は平成二十六年年度迄の耐震化改築は三分の二を補助するといっている。改築を急いで、今の子どもをしっかり教育すること重要で、住民参加で時間をかけ検討すべき。

国保の窓口医療費一部負担金の減免を！

幅田 国保税が高く、払えず保険証を取り上げられた人、医療費の未納が社会問題となっている。現在五十五%の自治体が減免制度をつくり、生活困窮者を救っている。その自治体に国が半分、支援するといっているが、本町もその考えはないのか問う。

町長 二十二年度に運用基準が出るので、その時に検討したい。

ヒブワクチン公的接種で子どもの生命を救って

幅田 新型インフルエenzaが猛威をふるっている。子どもの高熱による病気で一番恐ろしいのが細菌性髄膜炎、咽頭蓋炎で死亡や、後遺症に苦しむ人が後をたたない。ヒブワクチンを接種するなら一〇〇%防ぐことができる。五才迄に四回接種し、約三万円かかる。公的接種し、子どもを守る自治体が広がっている本町も取り組まないか。

町長 ワクチンは品薄で予約制である。このようなところを構造的に変えていくのは国の責任だ。**幅田** 肺炎球菌ワクチン接種について問うたこともあるが、子どもや年寄り、町民の生命を守るため、予防医療を地方からすすめて、国に求める立場から仕事をしていただきたい。



コカコーラ工場内